

午後 試験

問 1

問 1 はナイトビジョンを用いた予測安全システムについての出題であった。

設問 1 は全体としての正答率は高かったが、各小問によって大きくばらついた。(1) は、遠赤外線カメラを通して得られる画像情報をどのように扱うかを考察してほしかったが、位置関係の作図から判断したような解答が多かった。(3) でも遠赤外線カメラから得られる画像情報を使わないで、位置関係だけで考えた不十分な解答が目立った。

設問 3 では(1) (b) で“バッファが並列に配置され、それを切り替える”と誤解した解答が目立った。これは午後 問 4 の印象を引きずってしまったものと推測される。シリアルインタフェースにおけるダブルバッファの働きを理解していれば、このような誤った解答は避けられる。(2) の並列処理の問いについてはおおむね理解されており、正答率は高かった。

問 2

問 2 では、航空機監視用レーダシステムの開発及び不具合対策について出題した。多くの受験者にとってなじみの薄いシステムと思われるが、全体としての正答率は高く、問題文からシステム機能概要を読み取る力は高いようであった。

設問 1 (2) (a) では“航空機の飛行高度”と誤った解答が多かった。飛行高度は航空機からの応答信号から得られる情報であり、継続監視開始に必要な情報ではないことは、本文や図から読み取ることができる。

設問 2 のソフトウェア開発に関する問の正答率は全般的に高かった。しかし、各タスクの機能分担を誤解した解答も多くみられた。本文と各タスクの処理概要を示す表から正しく機能分担を把握できるようにしてほしい。